

八尾ロボットフェア 2014

第6回八尾ロボットコンテスト 2014.2.11アリオ八尾

チーム名&ロボット	参加者 名簿
ハイ・テクノ	チーム代表者 松本 健吾 チーム監督者 長谷川 尚哉 芦田 肇
テクッシー	参加者: 江藤 貴仁、岡島 大輔、岡本 静花、奥田 翼、押川 裕則、金本 賢徹、 久保 翔、鳥山 明秀、松田 拓也 所属: 大阪ハイテクノロジー専門学校 ロボット学科1年



ロボット製作費 約 13万3千円

ロボットの大きさ 298 × 298 × 390mm

ロボットの重量 約 7kg

特 徴

ロボットのデザインは、アームが長いことからネッシーをモチーフにしました。

ロボットのタイヤには、オムニホイールを使用しています。前後左右、斜めの8方向に移動でき、小回りが効きます。

アームは先端部分がゴム素材になっており先端のゴムが回転し、相手の帽子を叩き落とします。

ベースの台車は1.5mmのアルミ板ですが曲げ加工を行っているため強度があります。

製作時のエピソード（苦労話・話題など）

- (1)相手の帽子を取るためのアーム機構の構想がとても大変で、時間が掛かってしまい、アーム完成が予定より少しずれこみました。
- (2)ロボットの作成中、八尾ロボコンの規定の大きさにロボットが収まらず、様々な部品を加工しました。
- (3)モーターを車体に取り付けたときネジを入れすぎて、ギアボックスが凹んでしまいました。
- (4)ロボット製作開始時、連携が取れておらず、台車班とアーム班でロボットのサイズに関するミスが起きました。
- (5)設計で考えていたロボットが実際にロボット形になっていくのが嬉しかったです。